

2026

4

吾妻町

ふるさと会館だより

令和8年4月15日 編集発行：雲仙市教育委員会吾妻駐在(Tel: 38-3108)

地域こども教室

ミニランポ★ウォーク教室

吾妻町の子どもたちの居場所づくりや主体的な学びの場として、「地域こども教室」を開催しています。5月中旬頃、学校を通して参加者募集のお知らせをします。みなさんのご参加お待ちしております。



令和7年度の「地域こども教室」の様子

子ども読書週間

ガチャポンスタンプラリー開催
4/22(水)～5/31(日)

対象：幼児から中学生
内容：本を1冊借りるごとにスタンプ1個もらえます。
スタンプを10個集めて、景品をもらおう！



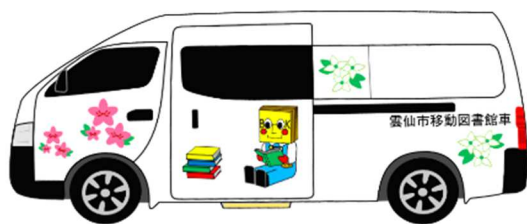
ふるさと会館の1階と2階の女子トイレに、新たに「おむつ交換台」を設置しましたので、ご自由にご利用ください。

移動図書運行表

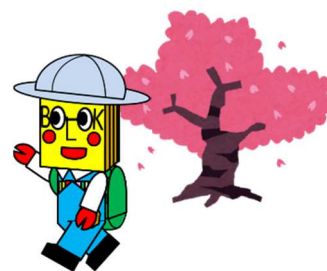
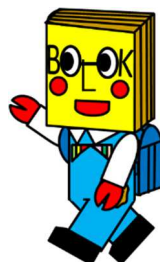


(問合せ：雲仙市図書館 0957-78-3977)

4月17日(金)	4月22日(水)	5月7日(木)	5月12日(火)	5月13日(水)
和光幼稚園 14:00～14:20	川床小学校 13:15～13:55	多機能型事業所 ななつの風 11:00～11:20	大塚小学校 12:55～13:35	うせん辻幼稚園 13:30～13:50



鶴田小学校 12:40～13:20
大福寺こども園 13:25～13:45



ご存じですか？

● 雲仙市公式 Instagram

● フォロー・いいね
お願いします

生涯学習課では、イベント情報や市民講座、レポートなどを掲載しています。



● ココロねっこ運動 を推進しています

「子どもたちの心の根っこを育てるため、大人が変わろう、行動しよう」という県民運動です。

大人のあり方を見直し、みんなで子どもころを育てましょう。

吾妻図書館だより

新刊案内

【開室時間】10:00~18:00

【貸出】本…1人10冊 2週間 ビデオ・DVD・CD…1人3本 1週間



4月中旬 入荷予定

- 『反骨のかわら版』玄間 太郎/著 (歴史・時代小説)
- 『鶴』 赤神 諒/著 (歴史・時代小説)
- 『星月夜 -藩邸差配役日日控-』
砂原 浩太郎/著 (歴史・時代小説)
- 『露の宿り』 高瀬 乃一/著 (歴史・時代小説)
- 『ハングマン鞆匠殺し』
中山 七里/著 (推理・ミステリー)
- 『誓いの証言 (佐方貞人シリーズ 5)』
柚月 裕子/著 (推理・ミステリー)
- 『明鏡 (東京湾臨海署安積班)』
今野 敏/著 (推理・ミステリー)
- 『交渉人・遠野麻衣子 ハイジャック』
五十嵐 貴久/著 (推理・ミステリー)
- 『猫鳴く森で謎解きを』
楠谷 佑/著 (推理・ミステリー)
- 『エデンの裏庭』吉田 篤弘/著 (日本の小説)
- 『すべてが円くなるように』
原田 マハ/著 (日本の小説)
- 『俺の恋バナを聞いてくれ』
新川 帆立/著 (日本の小説)
- 『なんのこれしき! -佐藤愛子の一喝箴言集-』
佐藤 愛子/著 (エッセイ)
- 『オレもやっているのに! 妻とのキレツにやっと
気づく育児本』宮崎 興治/著 (社会・時事)
- 『更年期の歩き方 (コミックエッセイ)』
鈴木 みき/著 (医学 (一般))
- 『あなたの食習慣を変える 100 の提案』
星 穂奈美/著 (医学 (一般))
- 『否定しない言い換え事典』
林 健太郎/著 (人生訓・人間関係・恋愛)
- 『絵本ずかん (大人も子どもも幸せになる名作絵本
200選)』金柿 秀幸/著 (児童書ブックガイド)



おすすめの一冊

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井 リョウ/著 (日本の小説)

「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」ファンダム経済を築く者、のめり込む者、のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、“物語”の功罪を炙り出す。『日本経済新聞』連載を単行本化。

**祝! 2026年本屋大賞
コーナー開設中!**

おはなし会のお知らせ

毎月、「おはなしの会くれよん」によるおはなし会が開催されています。

絵本やパネルシアターなど楽しいおはなしが満載です。どなたでもどうぞ!

4月18日(土) 午後2時~2時30分

吾妻町ふるさと会館 1階和室

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

子どもたちと触れ合いながら、一緒に読み語りなどを行ってくださる方を募集しています。

代表: 前田美恵子 (Tel: 0957-38-6621)

こころをつなぐ 明日をつなぐ 家族の真ん中に 家読-うちどく-
家読(うちどく)とは、家族みんなが顔をそろえ読書を通じて家族のきずなや読書週間を深めていく活動です。まずは、一冊の絵本から。図書館・図書室も応援しています。

